

# 令和4年度 斜里町水道事業の決算状況について



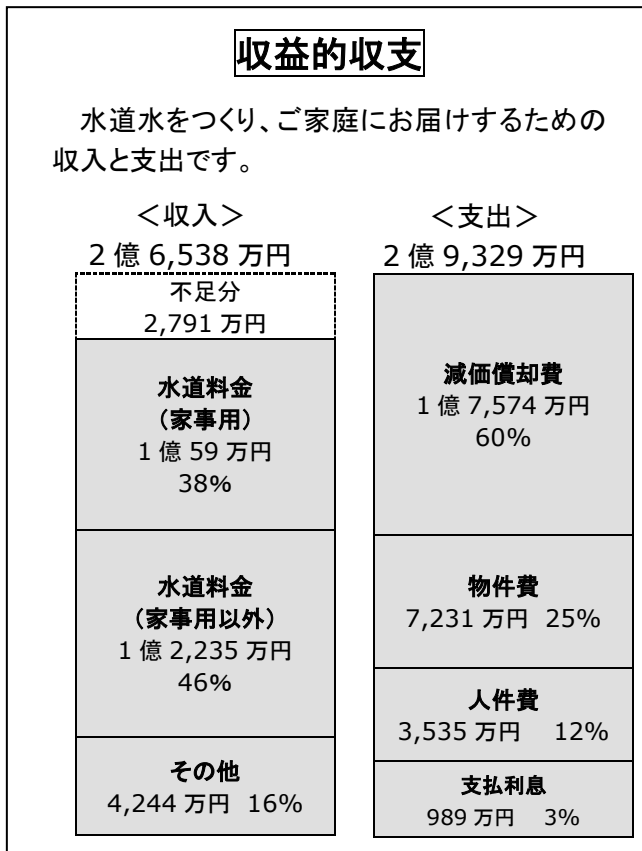
水道事業は、皆さんにお支払い頂いた水道料金をもとに、斜里市街地域・ウトロ地域への水道水供給を行っています。

令和元年度の決算状況の概要についてお知らせします。

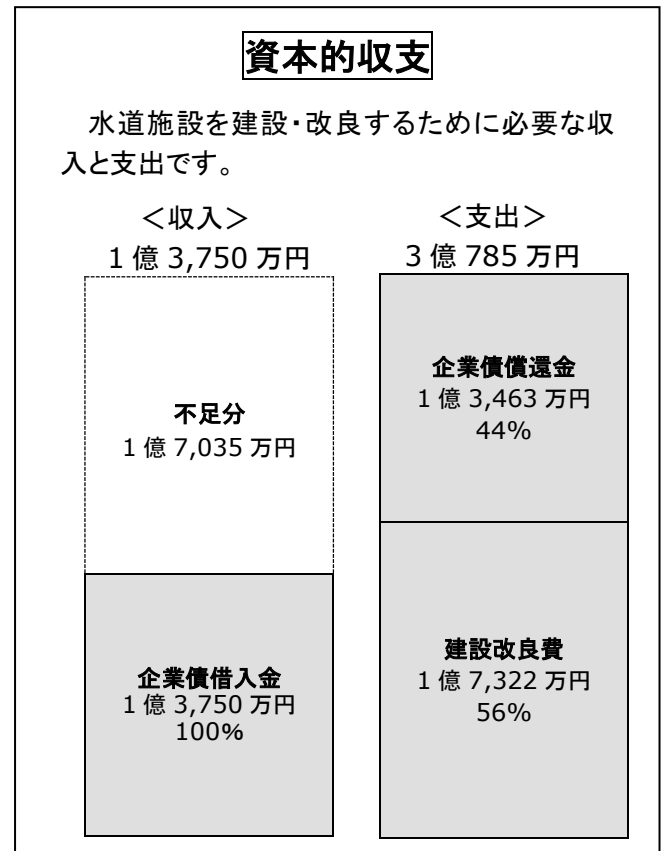
## 1. 令和4年度の決算状況について

今年度の事業収支の内訳については、以下のとおりです。水道事業会計には、「収益的収支」と「資本的収支」の2種類があります。

今年度の収支結果は、単年度で2,791万円の赤字となりました。



**物件費** 委託料、修繕費、光熱費、物品購入費など。  
**支払利息** 企業債償還金(借入金)の利息。  
**減価償却費** 経年劣化により減少した資産価値を経費化したもの。  
**利益** 赤字です。赤字に伴い預金が減額となりました。累積赤字は、1億1,451万円です。



**企業債借入金** 借入金です。返済残高は20億2,950万円です。  
**建設改良費** 老朽管更新工事、配水管新設工事、メーター取替え工事の費用など。  
**不足分** 減価償却費などの内部留保資金を充当。

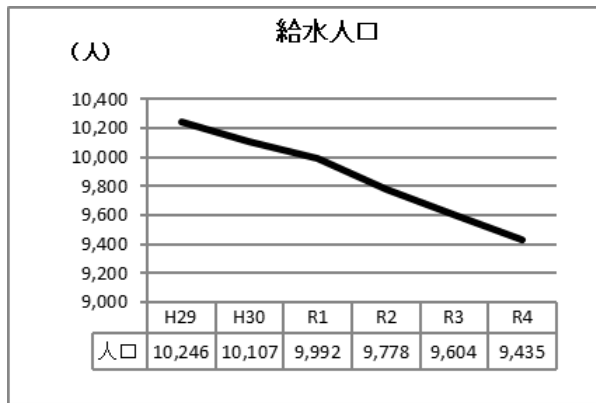
## 2. 今後の取組み

安心・安全な水道水の供給事業を継続するため、次のとおり取組みます。

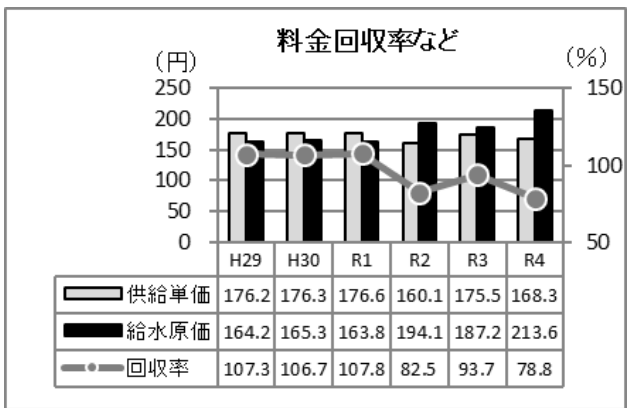
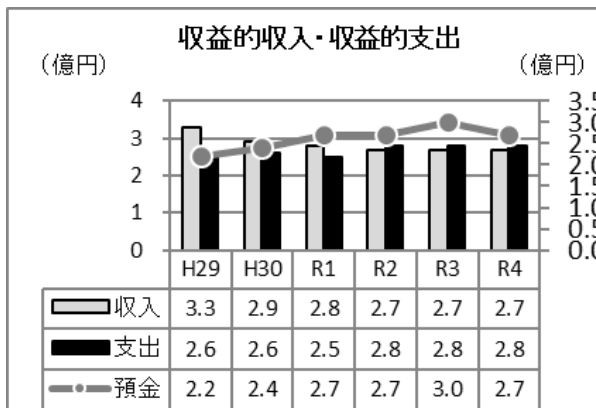
- ①支出の抑制 ~ 支出の見直しを継続し、経費圧縮に努めます。
- ②滞納対策 ~ 納付催告や給水停止、法定回収手続きを行い、収納率の向上を目指します。
- ③料金の適正化 ~ 決算状況や今後の事業計画から、随時適正な料金改定を行います。
- ④経営状況の開示 ~ 広報・ホームページを通じ、決算状況を広く周知します。

### 3. 過去5年間の推移

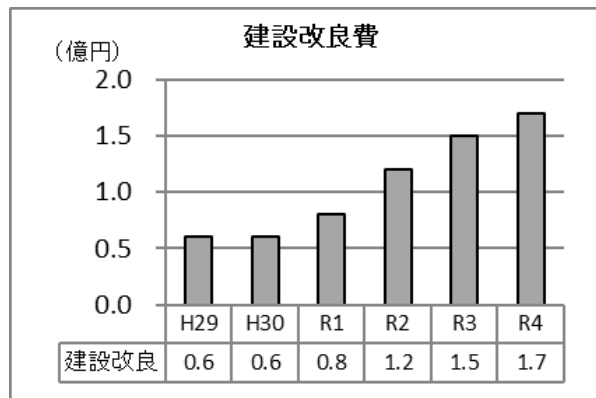
#### 使用水量の減少から料金収入は減少が続く見込みです



- 人口減少に伴う利用者数の減少、節水機器の普及、新型コロナウイルスの影響などから、使用水量、料金収入の減少が続いており、収益で費用を賄っていない状況です。
- 今後、収入の増加は見通せないことから、経営戦略の中で、支出の抑制とともに適正な料金設定を考え、収入増加の方策を考えていく必要があります。



#### 経営状況改善に努めています



- 建設改良費は、老朽管やメータ器の更新など、最低限の工事の実施としていますが、近年、機械の老朽化による更新が増加しています。
- 企業債（借金）の残高は減少傾向にあります。
- 例年より年度を超えた収入額が大きかったため料金の滞納額（未収金）は増加しています。今後も早期の納付相談や給水停止などを行い、更なる解消に努めます。

